

テーマ1 自分が生徒(児童)だったら、どのような学校に通いたいのか

安心できる居場所

- ・どんな子どもたちもそれぞれがほっとできる学校
- ・安心、安全な学校
- ・多様な生徒が過ごす学校
- ・色々な好きが叶えられる、色々な体験ができる、やる気が出る
- ・楽しい気持ちになる(勉強以外でも)、部活動等全力で取り組める
- ・だれでも安心できる居場所
- ・ちょっと休めるスペースやベンチがたくさんある
- ・図書館がハブとなって、隙間時間でも集まれる、休める
- ・放課後に過ごせる場(広い校庭、体育館、図書室での自習)
- ・いつでも(平常時も被災時でも)安全に過ごせる

多様な人々との交流

- ・生徒同士や生徒と先生、地域の人との交流ができる場(各フロアにフリースペース、職員室傍、図書室の位置)
- ・先生とフランクに話せる空気がある学校(職員室の外でも)
- ・みんなで給食が食べられるランチルーム
- ・自由に語り合える場(木陰、ベンチ、水場)
- ・既存校舎のサロン、廊下のベンチの継承
- ・生徒同士や生徒と先生、地域の人との交流ができるオープンなスペース
- ・他のクラスの友達ともおしゃべりできる空間
- ・自分の意見を自由に言える

教育環境

- ・見通しの良い設備(大きな窓、明るい廊下、職員室の様子が見える)、明るい玄関・ピロティ
- ・モダンでおしゃれな図書室(開放可能)
- ・校内を自由に行き来できる、スムーズな移動
- ・使用の幅が広い教室(「やりたい」が実現できる)
- ・セパレートできる教室
- ・季節が感じられる自然に囲まれた学校
- ・図書館(博物館的機能も)の充実した学校
- ・どの教室からもアクセスしやすいフリースペース
- ・個人で勉強できるスペース
- ・エレベーター、冷暖房、ICT環境、個人の収納ロッカー、広い教室、机、冷水器等

その他

- ・伝統文化(華道、茶道、三味線、箏)が行える部屋
- ・おいしい給食
- ・大きな水槽
- ・服装の選択肢が広い

テーマ2 地域が求めるこれからの学校

地域に開かれた学校

- ・幅広い年齢の方に活用してほしい
- ・中学生と高校生、大学生、大人になっても関わり続けられる学校
- ・卒業後も気楽に利用できる部屋
- ・敷居が高くない、日常的に気軽に立ち寄れる(安全面との両立)
- ・授業や行事等の詳細が分かりやすい学校
- ・ハードルが低い(何をしているか分かる)
- ・学びの拠点としての中学校(ダンス、スポーツ、ボランティア、町会)

地域住民との交流・関わり

- ・安全を確保しながら地域と連携・協力してイベントや授業を行う学校
- ・体験や学びが人々の交流で活発になってほしい
- ・学校行事のお手伝いが気軽にできたらいい
- ・子どもたちと出会って挨拶が交わせる学校
- ・応援したくなる、応援がいのある学校
- ・学校だけで活動するのではなく、地域と共存、助け合えるあたたかく、信頼される学校
- ・学校と地域がお互い依存せず、共有できる関係
- ・言霊、朗読(読書)会、ビブリオバトル、伝統文化、ダンス

開放施設

- ・プール、図書館、体育館、校庭、教室
- ・学校の外周をウォーキングコースにする、ベンチを置く
- ・スポーツセンター機能(プール、ヨガ、ダンス教室)
- ・21時頃まで開放、飲食出来たら
- ・設備を借りやすい学校
- ・外部機関の居場所がある学校
- ・カフェの委託運営

防災機能の強化

- ・地域の主要な防災拠点として、自立度の高い学校
- ・ウェルファームとの連携
- ・休息できる和室
- ・災害(震災)避難所として、学校と共存できる施設

その他

- ・設備が余ってきたとき、廃校にすることなく地域利用、他の公的施設とのリンクができるような学校施設
- ・中学生がもっと目立ってほしい
- ・公立学校の特質を明確にした施設(ソフト面)
- ・親が自分の子は天中を卒業させたいと思う中学